

一般財団法人 語学教育研究所主催 2021 年度オンライン講習会のご案内

このプログラムは随時更新してまいりますので、ウェブサイトでご確認の上、お申し込みください。

1. 英語授業の「型」づくり講座

時代が変わっても基本的な授業の「型」に変わりはありません。オーラル・イントロダクションを核とした授業の基礎的な指導技術を4回シリーズで学びます。続けて参加しやすいよう、夏と春の長期休業中に集中して実施します。1コマだけの受講も可能です。

夏期集中

7月31日(土)	13:00-14:30	1. 授業づくりの基礎・基本	小菅 和也
7月31日(土)	15:00-16:30	2. 導入(文法事項中心)から言語活動まで	小菅 敦子
8月1日(日)	13:00-14:30	3. 導入(題材内容中心)	浅野 伸子
8月1日(日)	15:00-16:30	4. 音読から話す活動へ	淡路 佳昌

春期集中

3月26日(土)	13:00-14:30	1. 授業づくりの基礎・基本	小菅 和也
3月26日(土)	15:00-16:30	2. 導入(文法事項中心)から言語活動まで	小菅 敦子
3月27日(日)	13:00-14:30	3. 導入(題材内容中心)	山崎 勝
3月27日(日)	15:00-16:30	4. 音読から話す活動へ	吉田 章人

2. ア・ラ・カルト講座 1回完結のセミナー、ワークショップです。

①	5月2日(日)	10:00-11:30	50分の授業の作り方	矢田 理世
②	6月13日(日)	9:00-10:30	コミュニケーション英語Iの授業の考え方	四方 雅之
③	6月20日(日)	10:00-11:30	発音と発音指導を見直す(1) -リズムと音連結を中心に-	小菅 和也
④	6月27日(日)	10:00-11:30	発音と発音指導を見直す(2) -個々の音素を中心に-	小菅 和也
⑤	7月18日(日)	13:30-15:30	小学校の4年間で身につける英語力を考える ～子どもと使い合う語彙を中心に～	相田真喜子 久埜 百合
⑥	7月24日(土)	9:00-10:30	単語の意味の伝え方	砂谷 恒夫
⑦	7月25日(日)	10:00-11:30	オーラルメソッドによる CLIL	山崎 勝
⑧	7月31日(土)	10:00-12:00	英語教師の発達段階	伊藤 雄二
⑨	8月9日(月)	13:30-15:00	子どもに聞かせる英語：子どもにわかりやすい語りかけ方	海崎百合子
⑩	8月18日(水)	10:00-12:00	英語の手書き文字の教え方 -小学校で・中学校で-	手島 良
⑪	8月21日(土)	10:00-12:00	フォニックス活用法 -単語の綴りの教え方-	手島 良
⑫	8月23日(月)	10:00-11:30	妥当性の高いテストを作る	望月 正道
⑬	8月23日(月)	13:00-14:30	生徒に英語力をつけるカギはこれだった！ 音読礼賛への疑問から	久保野りえ
⑭	8月28日(土)	13:30-15:00	Oral Introduction の基本 ～The house that Jack built を例に	八宮 孝夫
⑮	9月5日(日)	10:00-11:30	学びのユニバーサルデザインを取り入れた授業づくり	草間 浩一
⑯	9月12日(日)	10:00-11:30	ジャンル準拠の英語教育	松沢 伸二
⑰	9月12日(日)	13:30-15:00	定期試験のリーディング・テストで既習テキストを使わないことはできるか	根岸 雅史
⑱	9月18日(土)	13:30-15:00	文法の活動とハンドアウト	松原 知子
⑲	9月23日(木祝)	10:00-12:00	授業で使うために PowerPoint の基礎を学ぼう	草間 浩一
⑳	9月26日(日)	10:00-11:30	iPad を使って授業をしよう！	草間 浩一
㉑	9月26日(日)	13:00-14:30	これならできる！コロナ禍下での発音指導	静 哲人
㉒	10月2日(土)	10:00-11:30	50分の授業の作り方	矢田 理世
㉓	10月31日(日)	13:30-15:00	小学校でどのように文字と出会わせるか	永井 淳子
㉔	12月5日(日)	13:30-15:00	これならできる！ライティング指導と評価	馬場 千秋
㉕	12月18日(土)	13:30-15:30	「音」と文字をつないで、「話すこと」から「読むこと」へ ～タブレットを使ってできること～	久埜 百合
㉖	12月19日(日)	14:00-15:30	話すことの効果的な指導	千田 享
㉗	2月6日(日)	10:00-11:30	発音と発音指導を見直す(1) -リズムと音連結を中心に-	小菅 和也
㉘	2月13日(日)	10:00-11:30	発音と発音指導を見直す(2) -個々の音素を中心に-	小菅 和也
㉙	2月20日(日)	10:00-11:30	検定教科書を使った生徒のやる気を引き出す指導法	曾根 典夫
㉚	3月19日(土)	13:00-15:00	小学校における授業づくり	粕谷 恭子

申込み：語研ウェブサイトの「講習会」から、各回のフォームに必要事項を入力してください。

<https://www.irlt.or.jp/>

参加費の入金が確認できましたら zoom のミーティング情報をお送りいたします。

参加費：会員 1,000 円 一般 3,000 円（学生はそれぞれ半額。当日学生証を提示してください。）

英語授業の「型」づくり講座 内容詳細

夏期・春期 第1回「授業づくりの基礎・基本」 7月31日（土）・3月26日（土）13:00～14:30

講師：小菅 和也（武蔵野大学名誉教授）

英語の授業を英語で進める際に、どのような原則があるのでしょうか。また、英語の授業を効果的に組み立てていくためには、どのような点に注意しなければならないのでしょうか。このような、授業づくりの基礎・基本について考えます。4回にわたるシリーズの「導入・概論」にあたる講座です。語研が提唱する Oral Introduction の考え方を核として、議論を進める予定です。

夏期・春期 第2回「導入（文法事項中心）から言語活動まで」

7月31日（土）・3月26日（土）15:00～16:30

講師：小菅 敦子（東京女子大学等非常勤講師・元東京学芸大学附属世田谷中学校教諭）

文法を教えるとは、単に明示的にルールを説明することだけではありません。日々の授業でどのように扱えばよいのでしょうか。中学校での実演をもとに、1つの新出文法事項を学習者が実際の言語使用の場面で使えるようにするまでの方法と考え方を共有したいと思います。

夏期 第3回「導入（題材内容中心）」 8月1日（日）13:00～14:30

講師：浅野 伸子（東京都立小山台高等学校）

授業で導入にかける時間は全体の4分の1であっても、導入が成功すれば授業の8割は成功したと言っていでしょう。導入部でいかに生徒を巻き込み、その時間に扱う教材を理解させ、後に应用到まで発展させるかをお見せします。取り扱うのは高校のコミュニケーション英語の色々なレベルの教科書です。もちろん Oral Introduction を用います。

夏期 第4回「音読から話す活動へ」 8月1日（日）15:00～16:30

講師：淡路 佳昌（大東文化大学）

本文の導入と説明のあと、どのように変化を持たせて繰り返し音読をさせるか、どのような点について指導を加えるか、さらに、音読の成果を土台として、いかにして発表活動につなげていけばいいかについて考えます。

春期 第3回「導入（題材内容中心）」 3月27日（日）13:00～14:30

講師：山崎 勝（埼玉県立和光国際高等学校）

Oral Introduction により題材内容を導入した後、生徒の習熟度に応じた方法で、板書内容を使って生徒に Story Retelling を行わせる指導手順をご紹介します。併せて、Retelling にとどまらず、題材内容に関して生徒に意見を言わせるための Oral Work を提案します。

春期 第4回「音読から話す活動へ」 3月27日（日）15:00～16:30

講師：吉田 章人（日本女子大学附属高等学校）

本文の導入と説明のあと、どのように変化を持たせて繰り返し音読をさせるか、どのような点について指導を加えるか、さらに、音読の成果を土台として、いかにして発表活動につなげていけばいいかについて考えます。

ア・ラ・カルト講座 内容詳細

① 「50分の授業の作り方」 ①5月2日(日) 10:00~11:30

講師：矢田 理世(筑波大学附属高等学校)

新任の教員や学生など経験の浅い方を対象に、中学・高校の1時間(50分)の英語の授業の構成を考える講座です。目の前に与えられた50分をどう使うか、で精一杯になりがちですが、長期的な目的をもって逆算して考えることで、楽しく、自信をもって授業を作ることができます。この講座では、具体的な活動内容とその順序、時間配分を紹介しながら、授業構成のポイントを提案します。教育実習に行く前の学生さん歓迎です。

② 「コミュニケーション英語Ⅰの授業の考え方」 6月13日(日) 9:00~10:30

講師：四方 雅之(成蹊中学・高等学校)

2020年2学期に収録した授業をお見せしながら解説します。比較的学力の高い高校1年生(35名中、帰国生10名)の授業をご覧ください。授業は語研推奨の指導手順に則っています。「復習(音読)→新教材導入→説明(精読)→音読→言語活動→まとめ」という一連の流れです。すべて英語で運営されています。特に、「説明」の段階でも英語での「やり取り」で進行できるように、配布プリントに工夫をこらしています。生徒が自由に発言する場面が終盤にあり、授業のハイライトとなっています。ご期待ください。

③ 「発音と発音指導を見直す(1)ーリズムと音連結を中心にー」 6月20日(日) 10:00~11:30

講師：小菅 和也(武蔵野大学名誉教授)

英語の発音を「生徒にどう指導するか」という視点に立ち、2回に分けて開講します。第1回となる今回は、英語のリズム(強弱、特に弱形に注目)と単語間の音連結を中心に取り上げます。時間的な余裕があれば基本的なイントネーションについても触れる予定です。教材としては、短文、実際の教科書教材、その他さまざまな材料を提示する予定です。講義は必要最低限にして、実践的なワークショップ的側面を重視したいと思います。

④ 「発音と発音指導を見直す(2)ー個々の音素を中心にー」 6月27日(日) 10:00~11:30

講師：小菅 和也(武蔵野大学名誉教授)

第1回に引き続き、英語の発音を「生徒にどう指導するか」という視点に立ち、第2回では、主に母音や子音など個々の音素を取り上げます。あわせて、発音補助としてのカタカナ表記の活用にも触れたいと思います。教材としては、語、短文、実際の教科書教材、その他さまざまな材料を提示する予定です。参加者の疑問にもお答えしたいと思います。講義は必要最低限にして、実践的なワークショップ的側面を重視します。

⑤ 「小学校の4年間で身につける英語力を考える ~子どもと使い合う語彙を中心に~」

7月18日(日) 13:30~15:30

講師：相田 眞喜子(田園調布雙葉小学校)・久埜 百合(中部学院大学)

小学校で10歳前後の子どもたちが習熟することを期待されている英語運用能力が中学校での英語学習の下支えとなる指導の在り方を考えてみたい。4年間の授業時間が総計157.5時間と限られているが、大人に勝る子どものコトバの吸収力を生かして、英語の何を、どのように指導すべきなのか、いくつかの例を挙げて提案したい。

⑥ 「単語の意味の伝え方」 7月24日(土) 9:00~10:30

講師：砂谷 恒夫(高校非常勤講師)

写真や絵等を使って単語を導入する時、教師が伝えたつもり「意味」と学習者が受け取る「意味」が異なる場合があります。やさしい英語の言い換えも、かえって難しくなることもあります。日本語訳の有効性を踏まえた上で、視覚的手法やパラフレーズの問題点を示し、効果的な「単語の意味の伝え方」について具体的に検討します。一緒に考えましょう。学生、小中高大特の先生、一般の方、どなたも歓迎します。(昨年度までと内容重複)

⑦ 「オーラルメソッドによる CLIL」 7月25日(日) 10:00~11:30

講師：山崎 勝(埼玉県立和光国際高等学校)

CLIL(Content and Language Integrated Learning 内容言語統合型学習)は教育理念であり特定の教授法を持たないので、理念に賛同しても方法論を持たなければ実践は容易ではありません。本講座では語研の提唱するオーラルメソッドの指導技術により CLIL を実践する具体的な方法について提案します。

⑧ 「英語教師の発達段階」 7月31日(土) 10:00~12:00

講師：伊藤 雄二(北陸学院大学)

恩師・若林俊輔先生曰く「どうしたら効果的に指導できるか(中略)それはひとつの方法をやり抜くことである。(中略)やり抜くにあたっては、自分のその方法に確信を持つ必要がある。」やり抜くためには、教師自身も精神的にも技術的にも成長・発達する必要があります。若手とベテラン教員(公立中学校の先生方)の発達段階をお見せしながら、若林先生の「確信」に迫る方法を想像・模索・提案したいと思います。

⑨ 「子どもに聞かせる英語：子どもにわかりやすい語りかけ方」 8月9日(月) 13:30~15:00

講師：海崎 百合子(田園調布雙葉小学校)

「聞くこと」は子どもがことばを学ぶ上でとても大切なインプットです。授業で子どもが耳にする英語の大部分は指導者が子どもに話す英語、つまり teacher talk です。子どもは聞こえてくる英語の中でわかるところから類推して理解しようとしています。指導者が話す英語は子どもにとって難しすぎても易しすぎても学びに繋がりません。子どもの学習レベルにあった teacher talk について、具体的な活動を通して何をどんなふうに語りかければ良いか、考えていきたいと思っています。

⑩ 「英語の手書き文字の教え方 —小学校で・中学校で—」 8月18日(水) 10:00~12:00

講師：手島 良(武蔵高等学校中学校)

We Can! における手書き文字・印刷文字の「変革」を受けて、小・中学校の検定教科書でも、ついに「活字体」が消滅しました。この際、ぜひとも手書き文字の指導法も改革したいものです。その後の学習を支える手書き文字は、書きやすく読みやすいものでなくてはなりません。学習者に優しい、落ちこぼしをしない、丁寧な文字指導が求められています。英国の小学校における文字指導の伝統をご紹介します。

⑪ 「フォニックス活用法 —単語の綴りの教え方—」 8月21日(土) 10:00~12:00

講師：手島 良(武蔵高等学校中学校)

英語の綴りと発音の間にある規則を適切に指導したいものです。ただ、その規則はかなり複雑で、一度教えれば身につく、というものではありません。日々の授業の中で、生徒に「またかぁ」と思わせず、しつこく何度もその規則に触れさせていくことが重要です。規則が定着するだけでなく、生徒が綴りを覚える負担が減り、発音も向上する、そんな良いことばかり(?)の指導法をご紹介します。

⑫ 「妥当性の高いテストを作る」 8月23日(月) 10:00~11:30

講師：望月 正道(麗澤大学)

教育活動が意図したとおりに行われたかどうかを評価するためにテストは欠かせません。しかし、そのテストの妥当性が低いとしたら、それによる評価は信頼できるものではありません。この講座では、妥当性が高いテストとはどのようなものか、妥当性が高いテストはどのように作成するのかについて、中学校の教科書を使って考えます。

⑬ 「生徒に英語力をつけるカギはこれだった！音読礼賛への疑問から」

8月23日(月) 13:00~14:30

講師：久保野 りえ(都留文科大学・筑波大学附属中学校非常勤講師)

日々、生徒の英語力を上げるべく授業に奮闘しているのに、今一步生徒がしゃべれるようにならないのはなぜなのか。話せるようになる授業には、どんな外国語授業にも共通するシンプルなカギがあると考えます。具体的な授業場面も交えてお話します。また、音読についても、効果的なものにする方法を取り上げたいと思います。

⑭ 「Oral Introduction の基本 ～The house that Jack built を例に」 8月28日(土)

講師：八宮 孝夫(筑波大学附属駒場中・高等学校) 13:30～15:00

コロナ禍のオンライン授業で自分の Oral Introduction 動画を撮影配信することで、Oral Introduction の基本を見直すきっかけになりました。この講座では中学2年～3年程度の内容の題材を例に口頭導入の基礎・基本を考えます。併せて、関係代名詞を導入する前後に、ナーサリライムの The house that Jack built で口慣らしする例を紹介します。2学期明けから、新たに取り組もうとする方、挑戦していませんか？

⑮ 「学びのユニバーサルデザインを取り入れた授業づくり」 9月5日(日) 10:00～11:30

講師：草間 浩一(武蔵高等学校中学校)

「学びのユニバーサルデザイン(UDL)」では、学習者一人一人が違うことを前提に、個々の違いに合った学習が出来るような工夫を考えます。障害を持っているのは学習者ではなく、カリキュラムの方だと捉え、解決策を考えます。UDL の基本の理解から始め、この考え方を取り入れると、何が出来るのか、何が変わるのかを考えることで、授業作りのヒントを共有しましょう。

⑯ 「ジャンル準拠の英語教育」 9月12日(日) 10:00～11:30

講師：松沢 伸二(新潟大学)

学習指導要領は「まとまりのある英語を聞く／書く」などと、(文を超えた)テキストのレベルでの技能の伸長を求めています。この目的には豪州で開発されたジャンル準拠の英語教育が有効です。ジャンルは、特定の文化で生じる日常的・学問的・文学的テキストの区別が付き頻発する型(pattern)です。テキストに特有の型や表現を明示的に教えるこの教育を説明します。

⑰ 「定期試験のリーディング・テストで既習テキストを使わないことはできるか」 9月12日(日)

講師：根岸 雅史(東京外国語大学大学院) 13:30～15:00

リーディング・テストに読んだことのあるテキストを使うことには、たいていの人が違和感を持つはずですが、それは、本当に読む力があるか知ることができないからです。ところが、日本では、ほとんどの定期試験では、既習のテキストや問題が出題されています。では、定期試験で既習テキストを使わずにリーディング・テストを作るにはどうすればいいのでしょうか。そのための解決策について、みなさんと一緒に考えていきます。

⑱ 「文法の活動とハンドアウト」 9月18日(土) 13:30～15:00

講師：松原 知子(成蹊大学・大東文化大学非常勤講師)

新しい文法項目導入に際しては、多くの教員が、さまざまな活動を工夫しています。しかし、ずっと以前に学んだはずの文法規則が、十分に理解されていないと気づくことはありませんか。グループ活動などを取り入れた短時間の活動で、文法の復習と定着を図りましょう。学習者の興味を引き、意識を高めるハンドアウトも考えたいと思います。

⑲ 「授業で使うために PowerPoint の基礎を学ぼう」 9月23日(木祝) 10:00～12:00

講師：草間 浩一(武蔵高等学校中学校)

PowerPoint を授業で使ってみたいけど、どうしたらいいのかわからない、という方を対象に、授業で使うための基本テクニックをお伝えします。合理的配慮にもつながるスライド作りの初歩講座です。Zoom の映像を見ながら同じ画面上で PowerPoint の操作をしてもらいつつ進めていく予定です。Zoom をタブレットで見ながら PC 上で PowerPoint が操作できる環境もお勧めです。

⑳ 「iPad を使って授業をしよう！」 9月26日(日) 10:00～11:30

講師：草間 浩一(武蔵高等学校中学校)

iPad を授業に取り入れ、Keynote (iPad や iPhone に付属しているプレゼンテーションソフト) や PowerPoint を活用するためのノウハウを紹介します。スライドを使うことで生徒一人一人の違いを意識した授業が実践しやすくなります。合理的配慮の考え方や学びのユニバーサルデザインを意識した授業作りをご一緒に考えましょう。

⑳ 「これならできる！コロナ禍下での発音指導」 9月26日（日） 13:00～14:30

講師：静 哲人（大東文化大学）

新型コロナ感染症により、現在授業では教員・生徒ともマスク着用が普通です。その状況でも効果的に発音指導を実施するためには、口が見えなくとも音声だけで瞬時にクオリティを判定する力が大切です。発音指導の心・技・体をおさえた上で、英語教員としての発音指導力を向上させるお手伝いをします。練習の題材にはスピーチと歌（著作権フリー）を用います。

㉑ 「50分の授業の作り方」 10月2日（土） 10:00～11:30 （①と同じ内容です。）

講師：矢田 理世（筑波大学附属高等学校）

新任の教員や学生など経験の浅い方を対象に、中学・高校の1時間（50分）の英語の授業の構成を考える講座です。目の前に与えられた50分をどう使うか、で精一杯になりがちですが、長期的な目的をもって逆算して考えることで、楽しく、自信をもって授業を作ることができます。この講座では、具体的な活動内容とその順序、時間配分を紹介しながら、授業構成のポイントを提案します。教育実習に行く前の学生さん歓迎です。

㉒ 「小学校でどのように文字と出会わせるか」 10月31日（日） 13:30～15:00

講師：永井 淳子（東京都市大学付属小学校）

2020年度に全面実施された小学校学習指導要領により、高学年の外国語で、「聞くこと」「話すこと」に「読むこと」「書くこと」を加えた4技能を扱うこととなり、文字指導への関心が高まっています。果たして、文字に、いつ、どのように出会わせていったらよいのでしょうか。音声と共にある文字指導のあり方について、一緒に考えたいと思います。

㉓ 「これならできる！ライティングの指導と評価」 12月5日（日） 13:30～15:00

講師：馬場 千秋（帝京科学大学）

「ライティング指導は難しい」という印象をお持ちの方は多いと思います。本講座では、日常の授業の中で実際の検定教科書を用いて行う指導、投げ込み教材等を使った指導、帯活動として取り入れていく指導などを紹介します。また、フィードバック方法と評価方法についても具体例を提示します。

㉔ 「『音』と文字をつないで、『話すこと』から『読むこと』へ ～タブレットを使ってできること～」
12月18日（土） 13:30～15:30

講師：久埜 百合（中部学院大学）

英語を読みたい・書いてみたい」という子どもたちに、英語を音で表現する楽しさを体験させたい。3年生で学ぶローマ字とは違う英語の綴りの面白さも発見させたい。6年生までの4年間に学ぶ「読んだり書いたり」することが、中学英語とつながることを期待している。

㉕ 「話すことの効果的な指導」 12月19日（日） 14:00～15:30

講師：千田 享（埼玉県立浦和西高等学校）

話すこと（発表・やり取り）の活動を行うには、どのように英語で本文を導入しておけばよいのか、導入の後の説明や音読などは、どのように行えばスムーズに発表につながるのかについて考えます。コミュニケーション英語だけではなく、英語表現や論理・表現の授業における工夫も扱います。【対象：中・高教員】

㉖ 「発音と発音指導を見直す（1）ーリズムと音連結を中心にー」 2月6日（日） 10:00～11:30

講師：小菅 和也（武蔵野大学名誉教授） （③と同じ内容です。）

英語の発音を「生徒にどう指導するか」という視点に立ち、2回に分けて開講します。第1回となる今回は、英語のリズム（強弱、特に弱形に注目）と単語間の音連結を中心に取り上げます。時間的な余裕があれば基本的なイントネーションについても触れる予定です。教材としては、短文、実際の教科書教材、その他さまざまな材料を提示する予定です。講義は必要最低限にして、実践的なワークショップ的側面を重視したいと思います。

⑳ 「発音と発音指導を見直す（２）—個々の音素を中心に—」 2月13日（日）10:00～11:30

講師：小菅 和也（武蔵野大学名誉教授） （④と同じ内容です。）

第1回に引き続き、英語の発音を「生徒にどう指導するか」という視点に立ち、第2回では、主に母音や子音など個々の音素を取り上げます。あわせて、発音補助としてのカタカナ表記の活用にも触れたいと思います。教材としては、語、短文、実際の教科書教材、その他さまざまな材料を提示する予定です。参加者の疑問にもお答えしたいと思います。講義は必要最低限にして、実践的なワークショップ的側面を重視します。

㉑ 「検定教科書を使った生徒のやる気を引き出す指導法」 2月20日（日） 10:00～11:30

講師：曾根 典夫（筑波大学附属高等学校）

「これができたら、お菓子、シール・・・」本当にこれで良いのか。生徒のモチベーションを高めるには何が必要か、学習効果を最大にする仕掛けは何かあるのか。理論を踏まえながらその方法をお伝えします。例) 1.覚えるのが得意なのはどちら？ 2.学習効果を最大にする仕掛け 3.褒め言葉のバリエーション等。

㉒ 「小学校における授業づくり」 3月19日（土） 13:00～15:00

講師：粕谷 恭子（東京学芸大学教職大学院）

小学生を対象にどうやって英語の授業をすればいいのでしょうか？なぜ、中・高の英語の先生が授業をしても必ずしもうまくいかないのでしょうか？実際の授業場面を参考に、ご一緒に考えたいと思います。